

田中彫刻記

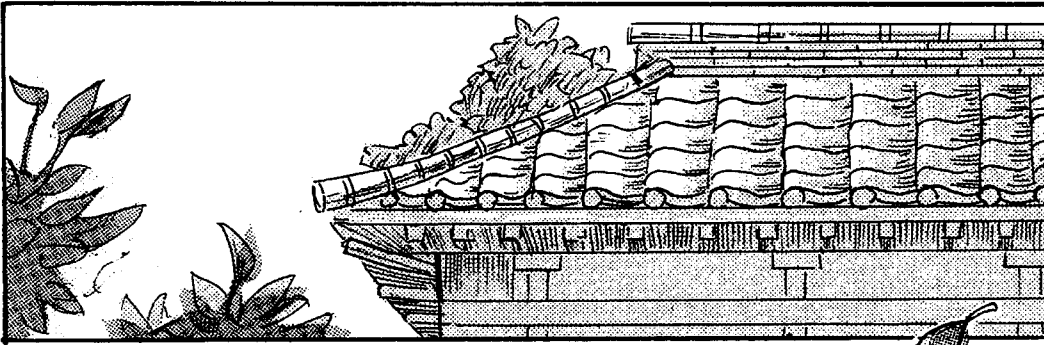
でんちゅうちょうこくき

あたらし せいかつ
第九話 ～新しい生活～

Takashi
作 ©いとうたかし



ここは下谷区
(現在の台東区)
谷中にある天王寺
と書いています。



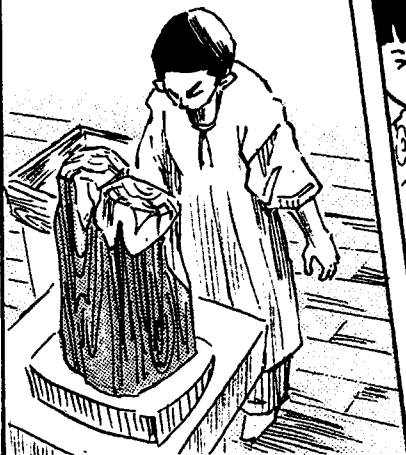
明治40年、倅太郎は、秋野花代と結婚しました。翌年には女の子、幾久代が生まれ、続いて俊郎が生まれました。



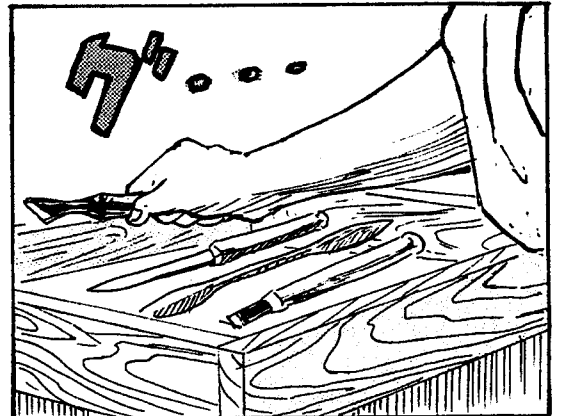
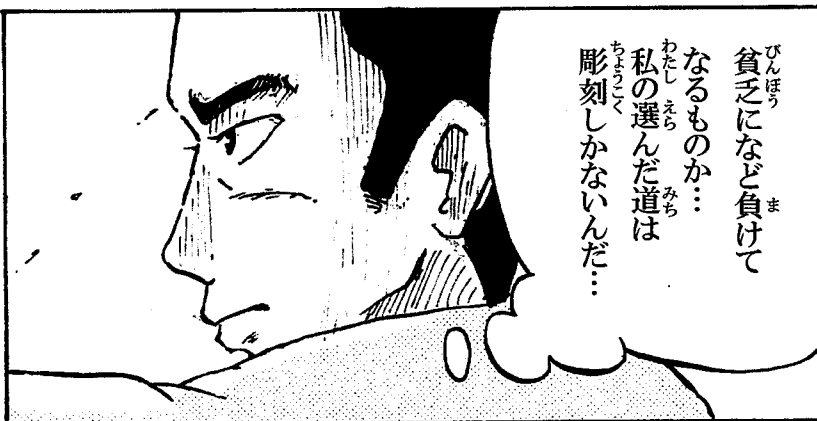
小さい子供たちに
囲まれて、にぎやか
になりました。

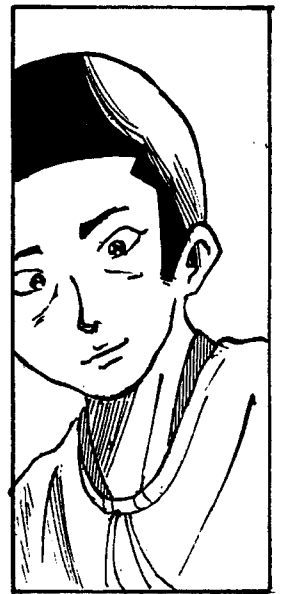
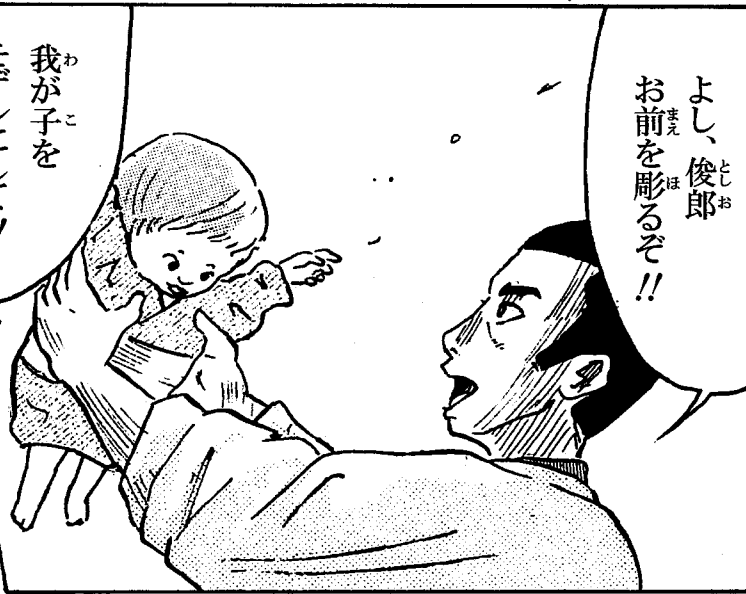
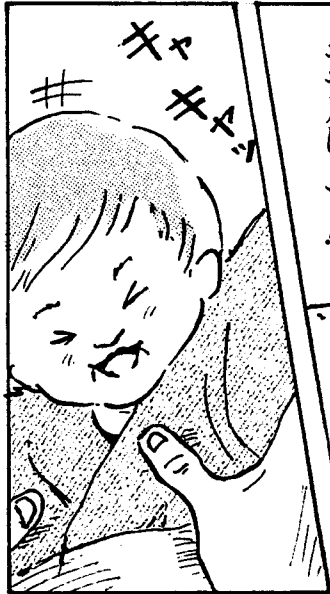
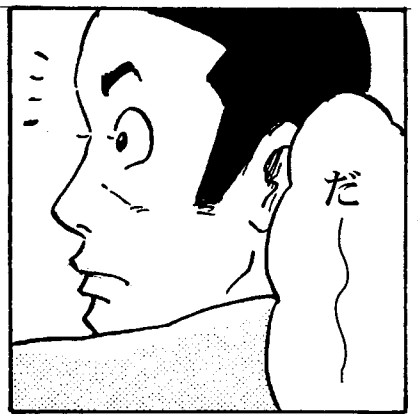
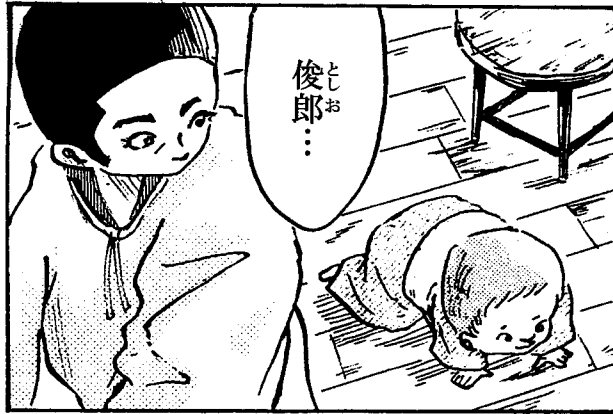


しかし、作品は
なかなか売れず、
貧しさは日に日に
募るばかりでした。



貧乏になど負けて
なるものか…
わたしの選んだ道は
彫刻しかないんだ…





こつした中で、
倅太郎は自分の
彫刻について、
一つの課題を
感じていました。

父親の愛情あふれる
この作品は、展覧会で
銀牌を受賞しました。

張子の犬を持って遊んでいた
俊郎が、ほかの玩具が欲しく
なって手を伸ばしている姿を
彫りました。



「幼児狗張子」